



JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団
〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1

Tel. 03-5378-6311 Fax. 03-5378-6161 <http://www.japanphil.or.jp/> E-mail:office@japanphil.or.jp

日本フィルハーモニー交響楽団 第45回九州公演 記者会見

2019年10月30日（水）

杉並公会堂大ホールホワイエ

《記者会見》

17:45- 記者会見

18:30- 質疑応答&フォトセッション

※ 時間は目安です。

《登壇者》※敬称略

アレクサンドル・ラザレフ（指揮者） 通訳：小賀明子氏

堀米ゆず子（ヴァイオリニスト）

河村尚子（ピアニスト）

平井俊邦(公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団理事長)

司会：杉山綾子（公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団広報部部長）

《配布資料》

1. 第45回九州公演をご支援ください
2. 出演者プロフィール
アレクサンドル・ラザレフ（指揮者）
堀米ゆず子（ヴァイオリニスト）
河村尚子（ピアニスト）
3. 【資料】九州公演の歩み
4. 被災地に音楽を in 熊本
5. こんな活動をしています（2018年度活動報告）

.....この件に関するお問い合わせ.....

公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 TEL:03-5378-6311

担当 賀澤美和 kazawa@japanphil.or.jp

広報部 杉山綾子 sugiyama@japanphil.or.jp

アレクサンドル・ラザレフ

【桂冠指揮者兼芸術顧問】

ロシアを代表する指揮者の一人。2008年9月から8年間にわたり日本フィルの首席指揮者を務め、2016年9月に桂冠指揮者兼芸術顧問に就任。首席指揮者就任とともに3年に渡る「プロコフィエフ交響曲全曲演奏プロジェクト」を開始し、1秒たりとも無駄にしない徹底したリハーサルで演奏水準を引き上げ、「ラザレフ効果」と評される。2011

年9月から5年の契約を延長し、「ラザレフが刻むロシアの魂」をスタート。2013年6月に最終章を迎えた「Season I ラフマニノフ」では、初回から作曲家の人間性にまで深く迫っていく解釈と、妥協なくその解釈を表現させる演奏で会場を熱狂させ、歴史的な作品の評価までも変える名演となり、センセーショナルなまでの高評価を得た。続く「Season II スクリャービン」では、日本人には馴染みの薄いスクリャービンの独特な色彩的・神秘的な世界を分かりやすくダイナミックに提示。2014/2015シーズンからは2年にわたり「Season III ショスタコーヴィチ」を展開。すさまじい音圧と作曲家が憑依したような演奏が話題となった。現在は「Season IV グラズノフ」を継続中。

モスクワ音楽院でL.ギンズブルグに師事、同音楽院を首席で卒業。1971年にソ連国際指揮者コンクールで第1位、翌年にはベルリンでのカラヤン指揮者コンクールで第1位とゴールド・メダルを受賞。1987年から1995年にかけてポリショイ劇場の首席指揮者兼芸術監督を務める。両タイトルを一人の指揮者が兼任したのは30年ぶり。この間、東京（1989年）、ミラノ・スカラ座（1989年）、エディンバラ音楽祭（1990、91年）、ニューヨーク・メトロポリタン歌劇場（1991年）などの演奏旅行では前例のないプログラムを実行し高い評価を得ている。グリムカ《イワン・スサーニン》、チャイコフスキー《オルレアンの少女》、リムスキー＝コルサコフ《ムラーダ》など、同歌劇場における秀作は映像化されている。さらにポリショイ管とは、ラフマニノフ《交響曲第2番》やショスタコーヴィチ《交響曲第8番》などのロシアの交響曲を含む数々の録音をEratoから出しており、大絶賛をあびている。

数多くのCDをリリースしており、ポリショイ管とはエラート、メロディア、ヴァージン・クラシックスで、BBC響、ロンドン・フィル、ロイヤル・スコッティッシュ・ナショナル管等との録音がある。日本フィルとの録音も多く、オクタヴィア・レコードより『ラフマニノフ：交響曲全集』、ショスタコーヴィチの交響曲『第4番』、『第11番』、『第8番』、『第7番《レニングラード》』、『第6番、第9番』、『第5番』、日本初演となった『ストラヴィンスキー：ペルセフォーン』等をリリースしている。



2013年九州公演よりラザレフ指揮

ブラームス／ドヴォルザーク編：ハンガリー舞曲第21番はこちら→



河村尚子（ピアノ）

ハノーファー国立音楽芸術大学在学中、ミュンヘン国際コンクール第2位、さらにクララ・ハスキル国際コンクールで優勝。ドイツを拠点に、リサイタルのほか、ウィーン響、バイエルン放送響、チューリヒ・トーンハレ管などのソリストに迎えられ、室内楽でも、C.ハーゲン（チェロ）とのデュオで知られるほか、M.ホルヌング（チェロ）、R.オルテガ・ケロ（オーボエ）等とカーネギーホール、ウィグモアホールで演奏。日本ではP.ヤルヴィ指揮NHK響など国内主要オーケストラと共演を重ねる傍ら、ルイージ指揮ウィーン響、ヤノフスキ指揮ベルリン放送響、



ピエロフラーヴェク指揮チェコ・フィル等の日本ツアーに参加。さらに、準メルクル、インバル、ラザレフ、テミルカーノフ他多くの指揮者から度々再演の指名を受けている。

文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞、新日鉄音楽賞、出光音楽賞、日本ショパン協会賞、井植文化賞、ホテル・オークラ賞を受賞。主なCDに『ショパン：ピアノ・ソナタ第3番&シューマン：フモレスケ』『ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番&チェロ・ソナタ』『ショパン：24の前奏曲&幻想ポロネーズ』、《月光》《悲愴》を含む待望のベートーヴェンのCDを2019年4月にリリースし、続けて10月にはベートーヴェンの《熱情》等を収めた最新譜が発売された。（RCA Red Seal）。さらに、今秋公開された映画『蜜蜂と遠雷』（恩田陸原作）では主役・栄伝亜矢のピアノ演奏を担当している。現在、ドイツ・エッセンのフォルクヴァング芸術大学教授。

オフィシャル・ホームページ <http://www.hisakokawamura.com/>

2013年ラザレフ×河村尚子

ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番こちら→



第1楽章



第2楽章



第3楽章

堀米ゆず子（ヴァイオリン）

5歳からヴァイオリンを久保田良作氏のもとで始め、1975年より江藤俊哉氏に師事。1980年桐朋学園大学卒業。同年エリーザベト王妃国際音楽コンクールで日本人初の優勝を飾る。以来ベルリン・フィル、ロンドン響、シカゴ響、クラウディオ・アバド、小澤征爾、サイモン・ラトルなど世界一流のオーケストラ、指揮者との共演を重ねている。

世界中の音楽祭に数多く招かれ、その中にはアメリカのマールボロ音楽祭、クレームルの主宰するロッケンハウス音楽祭、ルガーノアルゲリッチ音楽祭（スイス）などがある。室内楽にも熱心に取り組んでおり、これまでにルドルフ・ゼルキン、アルゲリッチ、クレームル、マイスキー、今井信子、メネセス、などと共演。

日本では、「モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタ選集」「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全曲演奏」「J.S.バッハ/ブラームスプロジェクト全6回」など多くのプロジェクトに取り組む。また、2011年東日本大震災に対し、微力ながら手助けになる事を願って、毎年ブリュッセルに於いて「復興コンサート」を行なっている。

レコーディング活動も活発で、「J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータ全曲集」、「ブルッフ&ブラームス協奏曲」、シャンドール・ヴェーグ指揮カメラータ・ザルツブルグとのモーツァルト：ヴァイオリン協奏曲集などがある。

多くの国際コンクールの審査員にも招かれており、2016年5月より仙台国際音楽コンクールヴァイオリン部門審査員長に就任。2015年7月には、春秋社より著書「ヴァイオリニストの領分」を刊行。現在、ブリュッセル王立音楽院教授、マーストリヒト音楽院教授。

使用楽器は、ヨゼフ・ガアルネリ・デル・ジェス（1741年製）。

公式ホームページ：<https://yuzukohorigome.com/>



2015年ラザレフ×堀米ゆず子

ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲第1番はこちら→



【資料】九州公演の歩み

1975年に6公演という規模で始まった日本フィル九州公演は、1年も中断することなく継続され、2020年2月に第45回を迎えます。現在では九州全7県10地区でコンサートを開催しています。この間、述べ476公演のオーケストラ公演をお楽しみいただけてまいりました。内外を代表する指揮者、人気と実力を兼ね備えた魅力的なソリストを迎え、迫力ある日本フィルサウンドを九州の地にお届けし続けています。

公演数

回	年	指揮者	訪問地	公演数
1	1975	渡邊暁雄	福岡・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎	6
2	1976	井上道義	福岡・北九州・大牟田・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀	9
3	1978	外山雄三、エリアフ・インバル	福岡・北九州・大牟田・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・沖繩(那覇)	10
4	1979	渡邊暁雄	福岡・北九州・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・唐津	9
5	1980	尾高忠明	福岡・北九州・久留米・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・唐津	10
6	1981	渡邊暁雄	福岡・北九州・大牟田・久留米・大分・宮崎・鹿児島・長崎・佐賀・唐津	10
7	1982	渡邊暁雄	福岡・北九州・久留米・佐伯・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・唐津・大牟田	10
8	1983	尾高忠明	福岡・北九州・久留米・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐世保・佐賀・唐津	11
9	1984	松尾葉子	福岡・北九州・大牟田・久留米・大分・宮崎・鹿児島・熊本・諫早・佐賀・唐津	11
10	1985	小林研一郎、大友直人	福岡・北九州・久留米・大分・宮崎・鹿児島・熊本・川棚町・佐々町・佐賀・唐津	11
11	1986	山田一雄	福岡・北九州・久留米・大分・宮崎・鹿児島・熊本・川棚町・佐賀・唐津	10
12	1987	小林研一郎	福岡・北九州・大牟田・久留米・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・唐津	11
13	1988	外山雄三	福岡・北九州・大牟田・久留米・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・唐津	11
14	1989	渡邊暁雄、十束尚宏	福岡・北九州・大牟田・久留米・大分・宮崎・鹿児島・熊本・川棚町・佐賀・唐津	11
15	1990	小林研一郎	福岡・北九州・大牟田・久留米・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・唐津・田川	12
16	1991	ウラジミール・バーレック	福岡・北九州・大牟田・久留米・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・田川	11
17	1992	山下一史	福岡・北九州・大牟田・久留米・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・田川	11
18	1993	小林研一郎	福岡・北九州・大牟田・久留米・臼杵・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・唐津・田川	12
19	1994	井上道義	福岡・北九州・大牟田・久留米・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・呼子・田川	12
20	1995	広上淳一	福岡・北九州・大牟田・久留米・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・唐津・田川	12
21	1996	ジェームズ・ロッホラン	福岡・北九州・大牟田・久留米・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・唐津・田川	12
22	1997	小林研一郎	福岡・北九州・大牟田・久留米・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・唐津・田川	12
23	1998	藤岡幸夫	福岡・北九州・大牟田・久留米・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・唐津・田川	12
24	1999	外山雄三	福岡・北九州・大牟田・久留米・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・唐津・田川	12
25	2000	小林研一郎	福岡・北九州・大牟田・久留米・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・唐津・田川	12
26	2001	広上淳一	福岡・北九州・荒尾・久留米・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・唐津・田川	12
27	2002	小林研一郎	福岡・北九州・大牟田・久留米・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・唐津・飯塚	12
28	2003	藤岡幸夫	福岡・北九州・大牟田・久留米・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・唐津・田川	12
29	2004	沼尻竜典	福岡・北九州・大牟田・久留米・大分・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・唐津・田川	11
30	2005	小林研一郎	福岡・北九州・大牟田・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・唐津・田川	11
31	2006	下野竜也	福岡・北九州・大牟田・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・唐津・田川	11
32	2007	小林研一郎	福岡・北九州・大牟田・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・唐津・田川	11
33	2008	井上道義	福岡・北九州・大牟田・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・唐津・田川	11
34	2009	小林研一郎	福岡・北九州・大牟田・大分・西都・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・唐津・田川	11
35	2010	アレクサンドル・ラザレフ	福岡・北九州・大牟田・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・唐津・田川	11
36	2011	藤岡幸夫	福岡・北九州・大牟田・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・唐津・田川	11
37	2012	大友直人	福岡・北九州・大牟田・大分・宮崎・鹿児島・八代・長崎・佐賀・唐津・田川	11
38	2013	アレクサンドル・ラザレフ	福岡・北九州・大牟田・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・唐津・田川	11
39	2014	ピエタリ・インキネン	福岡・北九州・大牟田・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・唐津	10
40	2015	小林研一郎	福岡・北九州・大牟田・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・唐津	10
41	2016	下野竜也	福岡・北九州・大牟田・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・唐津	10
42	2017	広上淳一	福岡・北九州・大牟田・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・唐津	10
43	2018	井上道義	福岡・北九州・大牟田・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・唐津	10
44	2019	藤岡幸夫	福岡・北九州・大牟田・大分・宮崎・鹿児島・熊本・長崎・佐賀・唐津	10



JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1

Tel. 03-5378-6311 Fax. 03-5378-6161 <http://www.japanphil.or.jp/> E-mail:office@japanphil.or.jp

アートキャラバンくまもと × 被災地に音楽を in 熊本

【日本フィルハーモニー交響楽団メンバーによる弦楽四重奏】

<出演> 本田純一(ヴァイオリン)、神尾あずさ(ヴァイオリン)、中溝とも子(ヴィオラ)、大澤哲弥(チェロ)

<日程> 2019年5月28日(火) NPO 法人 あやの里 内「as a café」

2019年5月29日(水) つどいの広場とんとん

2019年5月29日(水) イエズスの聖心病院

2019年5月30日(木) かわしりこども園

【金管五重奏団《日本フィルと九州の仲間たち》】

<出演> 橋本 洋(トランペット/日本フィル)*北九州出身、八馬俊也(トランペット/九響)

原川翔太郎(ホルン/日本フィル)*西原村出身、岸良開城(トロンボーン/日本フィル)*鹿児島出身

緒方淳一(テューバ)*福岡県在住

<日程> 2019年10月20日(日) 益城町・木山仮設団地

2019年10月20日(日) 西原村・小森仮設団地

2019年10月21日(月) 熊本県立かがやきの森支援学校・体育館

2019年10月21日(月) 江津しょうぶ苑

2019年10月22日(火) 益城町・テクノ仮設団地

日本フィルの演奏家から音楽のプレゼント

2019年10月21日 16:49 現在 (熊本放送)

<https://this.kiji.is/558921660541060193?c=535843299845702753>



被災地に音楽を届けているプロの演奏家たちが熊本市の高齢者施設を訪れ、音楽のプレゼントをしました。高齢者施設を訪れたのは、日本フィルのメンバーで西原村出身の原川翔太郎さんなど5人の演奏家です。

21日は、入所者たちの前でクラシックや民謡、映画音楽などあわせて10曲を演奏しました。

ほとんどの入所者が金管楽器の演奏は初めてということでしたが、慣れてくると手拍子をするなど演奏を楽しんでいる様子でした。

演奏家たちは22日、益城町のテクノ仮設団地を訪れる予定です。

(RKK 熊本放送)